

【建築を楽しむプラン】

利賀の劇場は、建築家・磯崎新氏と演出家・鈴木忠志の共同作業で生まれた劇場としても、世界の芸術関係者から注目を集めています。

上演中のみ中にお入りいただけます。そのほかの時間は外観のみの見学となります。利賀山房前の道は、野外劇場の準備中は通ることができません。

野外劇場（設計：磯崎新）

『世界の果てからこんにちはⅠ』

新利賀山房（設計：磯崎新）

『ディオニュソス』『マレビトの歌』『羯諦羯諦』

利賀山房（設計：磯崎新）

『火の鳥 異形編』『やまとなでしこ 番外編』

利賀大山房

『世界の果てからこんにちはⅡ』

『世界の果てからこんにちはⅢ』

岩舞台

『熊野』

創造交流館

「鈴木忠志トーク」

グルメ館の近くには、高岡市の建築家・吉田甫氏が制作したランドアート作品があります。ぜひご覧ください。

【周辺の観光を楽しむプラン】

土曜日の昼に運行する「温泉や世界遺産を楽しめる周遊バス」に乗って、新五箇山温泉「ゆ〜楽」や「瞑想の郷」など、周辺の観光を楽しむことができます。

加越能バスを利用し、近隣地域に足を伸ばすこともおすすめです（3日間有効のフリーパスあり）。

・南砺金沢線（金沢・城端・井波）

<https://www.kaetsunou.co.jp/regular/nanto-kanazawa/>

・世界遺産バス（高岡・城端・下梨・白川郷）

<https://www.kaetsunou.co.jp/company/sekaisan/>

南砺市観光協会のWEBサイト「旅々なんと」では、『世界の果てからこんにちはⅠ』の観劇と周辺観光プランを紹介しています。

・金沢市内で宿泊の場合

<https://www.tabi-nanto.jp/archives/27778>

・高岡市内で宿泊の場合

<https://www.tabi-nanto.jp/archives/27780>

グルメ館内のインフォメーションコーナーには、近隣の観光情報パンフレットを置いています。外国人向けの多言語のものがメインですが、日本語のものもありますので、ぜひお立ち寄りください。

【利賀の自然や食を楽しむプラン】

グルメ館や「アウトドアバー バッカス」では、50年記念として、利賀の特産品を充実させています。

・利賀そば

・清流そうめん

・利賀豆腐を使った「利賀まん」（とが美食倶楽部）

・TOGA 天空ウイスキー（若鶴酒造）

・クロモジハイボール

ほか



「SCOT サマー・シーズン」期間中は、百瀬川での岩魚つかみ取りや、近隣のハイキングなどアクティビティも用意しています。詳しくは、グルメ館でお尋ねください。